【第１回　学校運営協議会】　　令和２年５月２９日実施

１　委員委嘱

２　自己紹介

３　会長、副会長の委嘱

４　協議と承認

（１）学校経営方針の承認　　承認
（２）学校の現状報告　　承認
（３）教育課程の承認　　承認
（４）新型コロナに対応しながらの学校行事計画について　　承認

５　質疑応答

NO	意見及び質問事項　等	回答　等
１	長いコロナの休みの間、生徒の学習の取組によって学力の差が大きくなっていると想像される。授業時数の不足を補うための、授業の質、量、スピードがさらにその差を広げるのではないかと危惧する。	・学校再開後は、学校の楽しさを実感できる対応を指示している。 ・再開後の授業については、手厚くサポートを入れながら進めて行きたい。
２	ふるさと学習の話の中で、小中の連携の話があったが、高校との連携はどうなっているのか。生野高校への進学は多くないようだ。せっかく地元に高校があるのだから、そこが選択肢に入るような方法を考えてみてほしい。	・小学校と中学校の連携については、９年間の連続した学びをということで進めている。 ・生野高校とも校長の行き来もあるのだが、より深めていく方法を考えたい。
３	給食ではシールドを立てて、ということだが、食後、そのシールドは消毒するのか（感染拡大防止の鍵となるのは食事だと考え、地域の行事は飲食なしで行っている）。食後の机の消毒もいいが、むしろシールドの消毒のほうが大切なのではないか。	・複数の人が触れるものの消毒を考えていた。 ・シールドは個人のもの、という考えで、使用後はたたんでしまうように指導しようと思っていた。 ・シールドの消毒をするとして、どのような方法で実施するのが良いのかなど、考えていきたい。
４	緊急事態宣言が出て、外出の自粛が求められたこの間、本当に小学生、中学生の姿を見かけなかった。ぜひ、褒めてやってほしい。	・学校でも指導はしたが、家庭の教育、地域の教育の力だと思う。 ・ほめていただいたことを生徒に伝える。
５	マスク着用について、必要性はよくわかるが、これからの季節は熱中症も心配される。周りに人がいなければマスクを外して深呼吸をする、などの対策もテレビなどを見ているとあるようだが、学校ではどのように対応する予定なのか。	・気温の変化や個々の体調を考慮しながら対応していけるよう、今後の校長会等で考えていきたい。
６	熱中症の予防には、水分の補給が大切だが、水筒などは持ってきてよいのか、また、それを授業中などのどが渇いたときに利用できるのか。	・水筒の持参は許可しており、中には複数本持参の生徒もいる。 ・授業中の利用は許可していない。休み時間を利用してこまめに水分補給している